



令和3年7月5日(月)・16日(金)

介護相談員さんから…

天間荘では平成28年4月から介護相談員等派遣事業を受け入れています。市町村に登録された介護相談員が毎月2回来荘し、利用者の疑問や不満、不安を受けつけ、天間荘や行政に橋渡しをしてくれています。こうした介護相談員の活動報告(利用者の声や気づき)は、問題の改善や介護サービスの質の向上に活用されています



【食事・嗜好品】

●今日のおやつはワッフルと天間荘産の新じゃがいもをふかしたものでした。職員はジャガイモの皮むきが大変そうでしたが、利用者は皆おいしそうに食べられていました。お元気な頃はお酒をたしなんでいた利用者は、新じゃがを食べたのがきっかけになったのか、アルコールが飲みたくなったようです。

●園芸クラブで野菜を作り、クッキングクラブで料理をしているとのことで、皆さんが参加できて楽しそうでした。

【施設・環境】

●1か月ぶりの訪問できゅうりとかぼちゃが食べ頃になっていました。

●雨が続けていたためか、床が少しペタペタしていたのが気になりました。そして、朝食のメニューにあったオクラが床に付いていたのが気になりました。

●野菜が良く育っていて利用者の方が「良く手をかけてくれる人がいるのか、たくさん身が成るのを見るのが楽しみだよ」と笑顔でお話しして下さいました。

【医療・健康・リハビリ】

●コロナワクチン接種が進んでいるようです。入居者さんから「はじめが痛かったけど今は大丈夫」とお話を聞きました。摂取できて良かったと安心していただけたお話でした。

【その他】

●ベランダのキュウリを見ながら、昔は粕漬けをしたりキュウリのキュウちゃんを作ったり、奈良漬を作ったり、梅干し、梅酒を姑から教わって作ったと話さ方もいました。

●ショートステイの女性利用者が泣きそうな様子でした。話しかけると「何かしたい、じっとしているのがいや」と教えてくれました。家で畑や草取り等頑張ってきたようです。おやつを食べた後落ち着いた様子でした。

